

入札監視委員会の審議概要

開催日及び場所	令和5年9月6日（水） 北海道運輸局 6階会議室	
委員	委員長 久保 淳司（北海道大学 教授） 委員 市川 隆之（弁護士） 委員 大滝 裕子（税理士） ※敬称略	
審議対象期間	令和5年1月1日～令和5年6月30日	
抽出案件	総件数4件	
	物品・役務 一般競争	①札幌運輸支局等機械警備業務請負契約
	役務 随意契約 (企画競争)	②令和5年度「持続可能性を核とした日本ならではの世界的価値の創出事業」保全型林業を核としたサステナブルツーリズム推進事業
		③令和5年度「観光地域動向調査」オーバーツーリズム未然防止手法の検討調査事業
	④訪日外国人旅行者に対する利便性確保調査等業務	
意見・質問 及び回答	別紙のとおり	
委員会による意見の具 申又は勧告	無し	
その他	入札監視委員会規則の改正の報告及び改正内容に基づく新委員長の互選による選出	

《参考》

入札監視委員会は、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、平成13年4月1日から施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成12年11月27日法律127号）及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」（平成13年2月9日閣議決定）に基づき、北海道運輸局に設置されています。

①	札幌運輸支局等機械警備業務請負契約
委 員	北海道運輸局
○（この案件に限った話ではないが）ホームページに必要書類を公開しており、アクセスしやすくなっているが、応札事業者数が多いのはないので、参加してもらうための工夫や努力が必要ではないか。	●幅広く参加していただけるように検討していきたい。
②	令和5年度「持続可能性を核とした日本ならではの世界的価値の創出事業」保全型林業を核としたサステナブルツーリズム推進事業
委 員	北海道運輸局
○企画提案を行った事業者数が少ないので、ホームページによる情報提供を行うよう検討いただきたい。（事案③及び④にも共通）	●検討したい。
○審査項目のうち「業務内容の理解度」の配点が他よりも高いが、差をつけた理由があるのか。	●「サステナブルな観光コンテンツ（＝観光客、地域住民、地域産業、自然環境が好循環を生み出すコンテンツ）」がどのようなものか事業者理解してもらわなくては事業自体が成り立たないため、配点を他よりも高くしている。
○林業のための作業道とマウンテンバイクのための道は、うまく使い分けられるものなのか。	●林業の施業は、行われぬ期間が長く作業道が維持できないという課題がある。そのため、施業していない間は、マウンテンバイクのコースとして活用してもらう等により両立させることとした。
○継続して整備するための仕組みについてはどのように考えているのか。	●マウンテンバイクに乗るために来町する方々は自然を大事にする方が多いこともあり、自らに整備を行っていただくことで、旅行者と地域の双方にとって良好なスタイルとなることを意識している。
○国としての成果としてはどのようなものがあるのか。	●契約事業者からの報告書を各地域にも展開することで、今回の事業がモデルケースとなり得ると考えている。
③	令和5年度「観光地域動向調査」オーバーツーリズム未然防止手法の検討調査事業
委 員	北海道運輸局
○オーバーツーリズムの対策を継続的に行うための仕組みはどのように考えているのか。	●地域単体で考えると仕組みづくりは難しかったとしても、全道的に考えると観光客対策のための費用を観光客に負担してもらう仕組みづくりができる可能性があり、関係者とともに一緒に対策を練ることで、そのような体制をつくっていきたい。
④	訪日外国人旅行者に対する利便性確保調査等業務
委 員	北海道運輸局
○業務の内容について、プロモーションとは具体的にどのようなことを行うのか。	●主に冬場のスキー場にいらっしゃる方に対して、（特に中心部におけるマイカーから公共交通機関への乗り換え等の）周知及び案内ができるかが課題となっているので、実際にマイカーのための駐車場を確保し、一定期間継続的に貸切バスを借り上げて運行させる。乗車された方へのアンケートの分析を行った上で検討及び関係者によるワーキンググループを開催する。
○この事業では貸切バスを借り上げて運行しているが、将来的にはどのような形になるのか。	●そのエリアを関係者で自走してもらうことを想定しているが、運輸局としては維持するための進め方などを提案したいと考えている。